

豊かな自然の中で

戸狩温泉とんだいら高原は日本有数の豪雪地帯、長野県最北部の飯山市にあります。北に関田山脈、南に日本一長い千曲川を臨む、自然と人間が共生する豊かな里山です。周囲の山には美しいブナ林が広がり、カモシカ、たぬき、サンショウウオ、天然記念物のモリアオガエルなど多くの野生動物が暮らしています。山菜やきのこが豊富に取れ、ふもとには菜の花畑や田んぼが広がっています。



親元を離れ、自分たちでつくる

キャンプの中身はおとながお膳立てしたものではなく、子どもたちが事前に何度も集まって、自分たちでキャンプのねらいやプログラム、メニュー、持ち物などの内容を相談し、準備して当日に臨みます。

キャンプ生活を自分たちの力で作り上げる中で、子どもたちは、仲間と一緒に生活すること、共感し合うことのすばらしさを感じ取ります。

そうした活動の中で、みんなで生きるこの意味や、性別や年齢を超えてなんでも話し合える仲間を増やすことの大切さをつかんでいきます。



魅力的なお兄さん・お姉さん

子どもたちが自分の力で準備をしたり、キャンプ生活を作り上げていくにあたって、それを見守り、補助するのが高校生や二十歳前後の青年「指導員」です。

指導員は子どもたちと寝食をともにして、遊びや歌を盛り上げたり、危険がないよう注意を払ったり、困難な状況に直面したときにアドバイスしたり、トラブルを仲裁したりします。子どもたちの成長を見守り、その子の力にあった課題を設定したり、いいところを見つけてほめるのも重要な役割です。

子どもたちと名前やあだ名で呼び合い、対等な関係を築いている指導員たちは、少し年上の魅力的なお兄さん・お姉さんとして子どもたちから信頼され、憧れられています。



お父さん・お母さんも！

子どもたちがキャンプを楽しむためには、おとなのバックアップが欠かせません。父母スタッフは子どもたちとは別プログラムで、親同士交流したり、間接的に子どもたちの活動を支えます。お父さん、お母さんも一緒にすてきなキャンプ村を作りましょう。

